



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ケアサービス

コード番号 2425

URL <https://www.care.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長

（氏名） 福原 俊晴

問合せ先責任者（役職名） 執行役員

（氏名） 阿部 博

（TEL）03-5753-1170

配当支払開始予定日

—

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）経営成績（累計）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	2,259	—	△27	—	△24	—	△29	—
2026年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	△7.80	—
2026年3月期第1四半期	—	—

（注）2026年3月期第1四半期は連結業績を開示しておりましたが、2026年3月期第2四半期（中間期）より非連結での業績を開示しております。そのため、2026年3月期第1四半期の経営成績（累計）及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
2027年3月期第1四半期	3,992		2,840		71.2
2026年3月期	3,866		2,953		76.4

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 2,840百万円 2026年3月期 2,953百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	22.00	22.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	0.00	—	22.00	22.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,527	3.4	14	△88.8	136	△16.1	77	△33.1	20.30

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2027年3月期1Q	4,200,000株	2026年3月期	4,200,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2027年3月期1Q	406,807株	2026年3月期	406,807株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2027年3月期1Q	3,793,193株	2026年3月期1Q	3,793,193株
------------	------------	------------	------------

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査 : 無
法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] 2 ページ「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5
(セグメント情報等の注記)	5
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	5

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の引き締まりを背景とした賃上げの動きや所得環境の改善により緩やかな回復基調となりました。一方で、物価高の長期化に加え、為替変動、資源・エネルギー価格および原材料価格の上昇、地政学的リスクの高まり等により、先行きは不透明な状況が続いております。

当社では、今期を第二創業期の初年度として、新たに「中期経営計画Care2030」を策定いたしました。今後、国内外で急速にケアエコノミー（介護や看護、家事や育児などの「ケア」ワークに関する経済活動）が拡大へ向かう中で、2031年3月期までの5年間で、『重点事業の変革によって、次の時代に向けた土台を築く期間』と定義しました。これまでに積み上げてきた手元資本を、既存事業と経営基盤の再強化に重点的に充てるとともに、新規事業開発に向けて積極的に投資を行ってまいります。また、当社の非財務マテリアリティを「4つのケア」（人のケア／サービスのケア／地域のケア／地球のケア）と再整理し、経済的価値と社会的価値の両立と持続可能性を追求する企業を目指してまいります。

当第1四半期累計期間においては、既存事業の改革と投資を進めるとともに、第2四半期以降に向けた土台を整備いたしました。前期に拠点再構築を進めたことによる事業所数減少の影響により、前年同四半期比で減収減益となった一方、前四半期比では増収に転換いたしました。投資面では、エンゼルケアサービスで過去最多となる新入社員の採用を行うとともに、今後の事業拡大を見据えた車両の新規購入と入替、研修教育への投資、ICT基盤への投資を行いました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は2,259百万円、営業損失は27百万円、経常損失は24百万円、四半期純損失は29百万円となりました。

各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

（在宅介護サービス事業）

前期に実施した事業所統廃合の影響により減収減益となりましたが、前四半期比では重点事業のデイサービス、訪問入浴とも増収となり、在宅介護サービス事業全体において、既存事業の収益力は回復傾向にあります。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は1,575百万円、セグメント利益は35百万円となりました。

（シニア向け総合サービス事業）

エンゼルケアサービスにおいて、前期に開設した新規拠点が売上に寄与し、前年同期比で増収増益となりました。前四半期比では、第4四半期が繁忙期にあたるため、減収となりましたが、計画通りに推移しております。

また、生前整理や遺品整理を行うクリーンサービスにおいて、需要を捉えたことにより、好調に推移しました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は684百万円、セグメント利益は120百万円となりました。

(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況

当第1四半期会計期間末における資産合計は、現金及び預金93百万円増加、売掛金24百万円増加等により、前事業年度末と比較して126百万円増加し、3,992百万円となりました。

当第1四半期会計期間末における負債合計は、未払費用310百万円増加、賞与引当金104百万円減少等により、前事業年度末と比較して239百万円増加し、1,151百万円となりました。

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、2,840百万円となりました。四半期純損失29百万円の計上及び配当金の支払い83百万円により利益剰余金が減少したことから、前事業年度末と比較して113百万円減少しました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月14日に公表いたしました2027年3月期の業績予想数値から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,674,551	1,767,668
売掛金	1,289,688	1,314,316
その他	178,208	177,556
貸倒引当金	△670	△719
流動資産合計	3,141,777	3,258,821
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	93,296	89,770
その他（純額）	147,312	170,281
有形固定資産合計	240,608	260,051
無形固定資産		
その他	72,963	67,965
無形固定資産合計	72,963	67,965
投資その他の資産		
敷金及び保証金	194,823	190,736
その他	216,103	215,395
貸倒引当金	△234	△190
投資その他の資産合計	410,692	405,940
固定資産合計	724,264	733,957
資産合計	3,866,042	3,992,779
負債の部		
流動負債		
買掛金	132,619	121,337
未払費用	274,618	585,360
未払法人税等	27,180	17,954
賞与引当金	139,844	34,961
その他	76,848	129,466
流動負債合計	651,110	889,080
固定負債		
退職給付引当金	242,686	247,840
その他	18,272	14,935
固定負債合計	260,958	262,776
負債合計	912,068	1,151,856
純資産の部		
株主資本		
資本金	205,125	205,125
資本剰余金	138,075	138,075
利益剰余金	2,759,045	2,645,994
自己株式	△148,271	△148,271
株主資本合計	2,953,973	2,840,922
純資産合計	2,953,973	2,840,922
負債純資産合計	3,866,042	3,992,779

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	2,259,961
売上原価	2,086,177
売上総利益	173,784
販売費及び一般管理費	200,898
営業損失(△)	△27,114
営業外収益	
受取保険金	246
補助金収入	365
その他	1,617
営業外収益合計	2,229
営業外費用	
支払利息	89
その他	25
営業外費用合計	114
経常損失(△)	△24,999
特別損失	
固定資産除却損	1,645
特別損失合計	1,645
税引前四半期純損失(△)	△26,645
法人税等合計	2,955
四半期純損失(△)	△29,600

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用につきましては、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 当第1四半期累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	在宅介護 サービス事業	シニア向け総合 サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,575,616	684,344	2,259,961	—	2,259,961
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,575,616	684,344	2,259,961	—	2,259,961
セグメント利益又は損失(△)	35,173	120,494	155,667	△182,781	△27,114

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△182,781千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△182,781千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	当第1四半期累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	34,122 千円